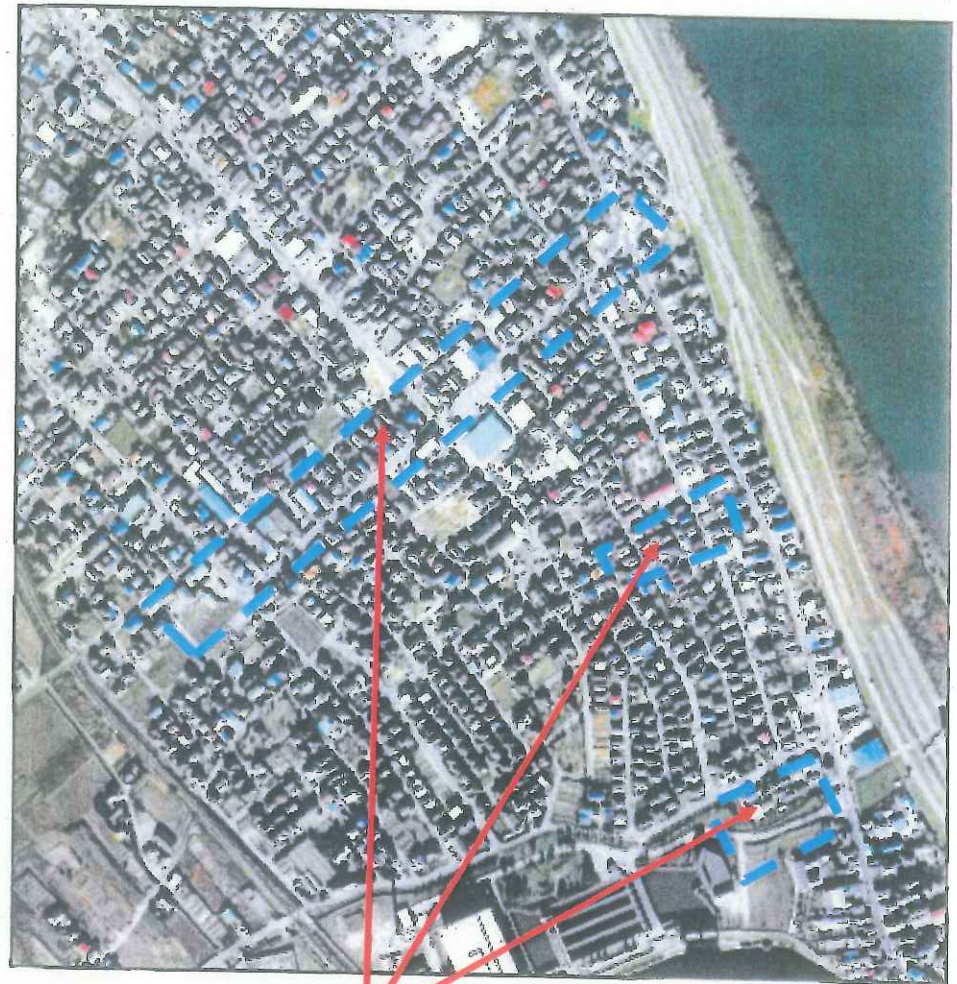


沼地が分布している箇所。



沼地が埋め立てされている。

我孫子市布佐の地形とボーリング結果







## ○ボーリング調査地点全体図



※水色で塗られている部分が過去に沼地が分布していたと思われる箇所である。

《各地点の地震被害の規模》

地点	被害規模		
	大	中	小
No. 1	○		
No. 2		○	
No. 3			○
No. 4	○		
No. 5	○		

《調査地点の選定》

No. 1 : 過去に沼地が分布していた箇所が広く細長く分布している為、その中で地震による被害規模が「大」の箇所を選定。

No. 2 : 過去に沼地が分布していた箇所が広く細長く分布している為、その中で地震による被害規模が「中」の箇所を選定。

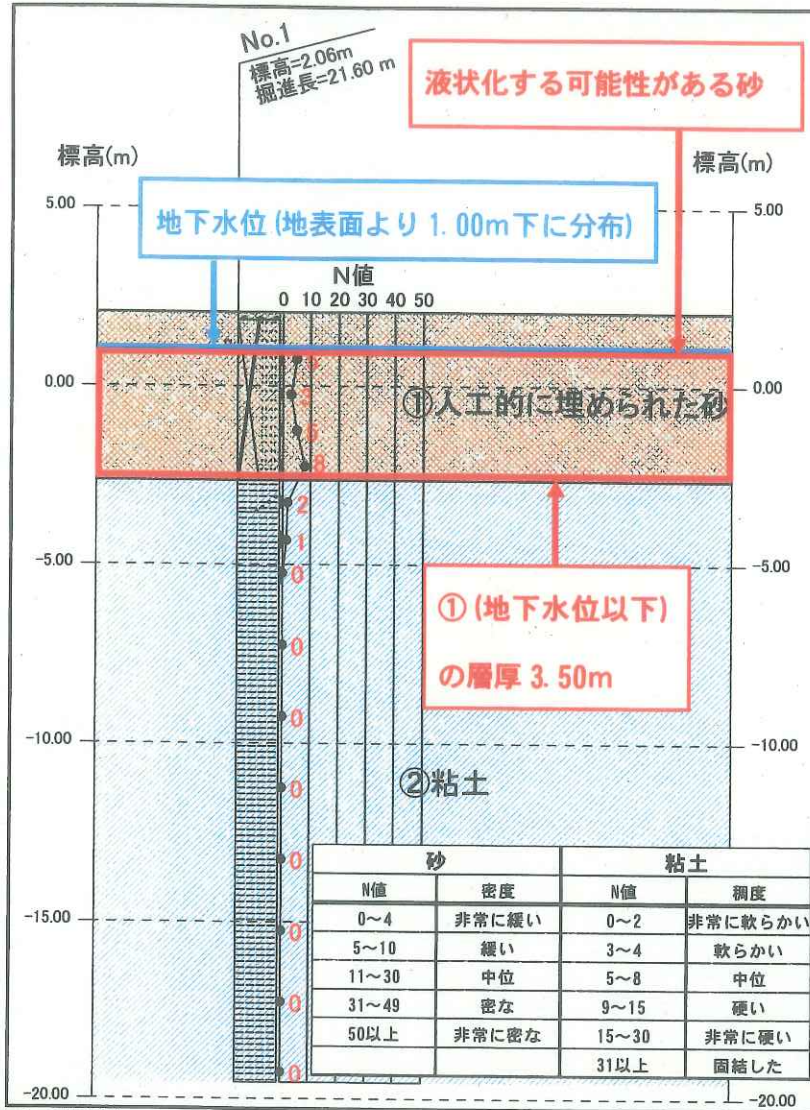
No. 3 : 調査地区内で地震による被害が「小」の箇所を選定。

No. 4 : 過去に沼地が分布している為、その中で地震による被害規模が「大」の箇所を選定。

No. 5 : 過去に沼地が分布している為、その中で地震による被害規模が「大」の箇所を選定。



■ボーリング調査結果：No.1地点



■《土層の特徴》

- ・①は 4.50m の層厚がある。
- ・地下水位は①の中に分布している。
- ・① (地下水位以下) が液状化する可能性がある。

■《液状化しやすい土層》

- ・地表面から 20m までの土層
  - ・地下水位より下の土層
  - ・緩い砂
- ※揺れの大きさ、揺れの時間が長いほど起きやすい。

■《液状化判定の予測》

液状化の予測は、建築物の構造関係技術基準解説書の危険度判定基準 (PL 値) による。

PL 値→地層全体が液状化する可能性の危険度である。

※PL 値が高いほど液状化する可能性は高くなる。

■《調査地の状況》

過去に沼地が分布しており、被害規模が「大」である。

■《調査結果》

調査結果として、①人工的に埋められた砂が液状化していることがわかった。



《今後》

再び大規模な地震が起こった場合、液状化する可能性は極めて高いと判断される。

**PL=19.553**

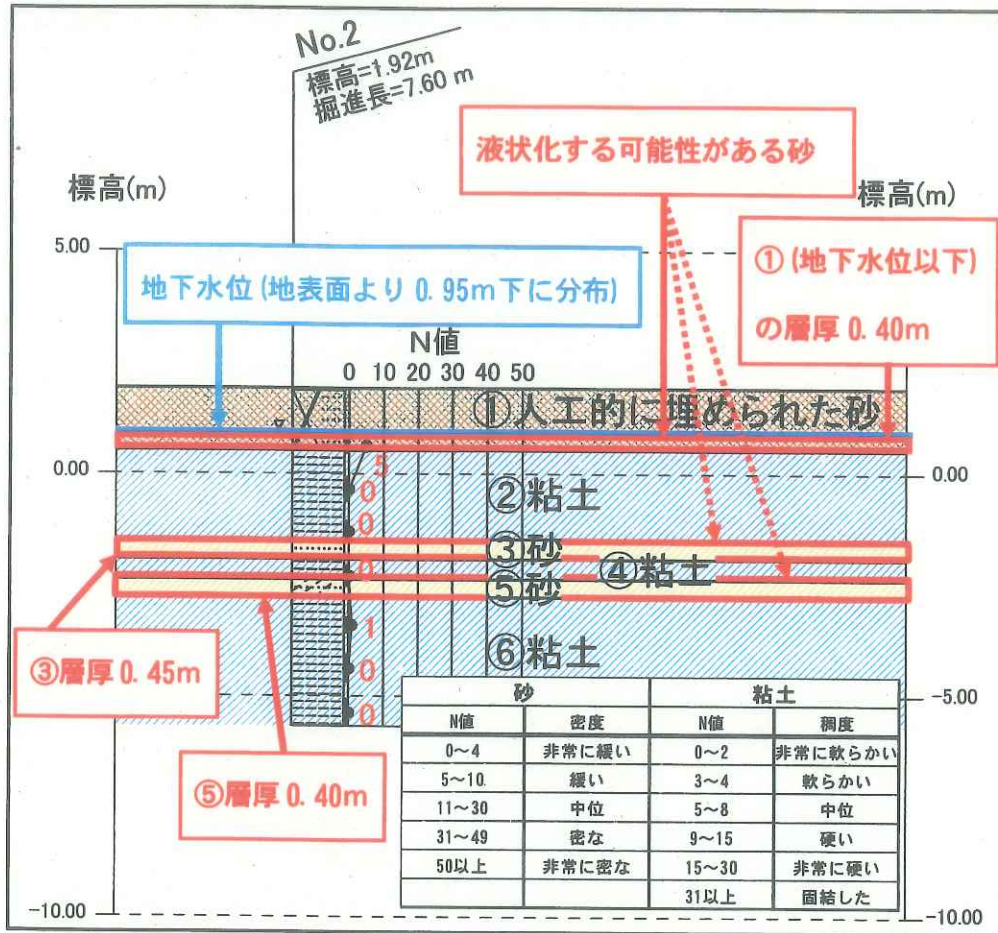
※ただし、揺れの時間の長さも液状化の発生要因として大きく影響する。

■《液状化危険度》

PL	液状化の危険度
0	かなり低い
5 以下	低い
5 を超え15以下	高い
15 を超える	極めて高い



■ ボーリング調査結果：No. 2 地点



■ 《土層の特徴》

- ①は1.35mの層厚がある。
- 地下水位は①の中に分布している。
- ②、④、⑥の粘土の間に③、⑤の砂が混入している。
- ①(地下水位以下)、③、⑤が液状化する可能性がある。

■ 《調査地の状況》

過去に沼地が分布しており、被害規模が「中」である。

■ 《調査結果》

調査結果として、①人工的に埋められた砂および③、⑤の砂が液状化していることがわかった。



《今後》

再び大規模な地震が起こった場合、液状化する可能性は高いと判断される。

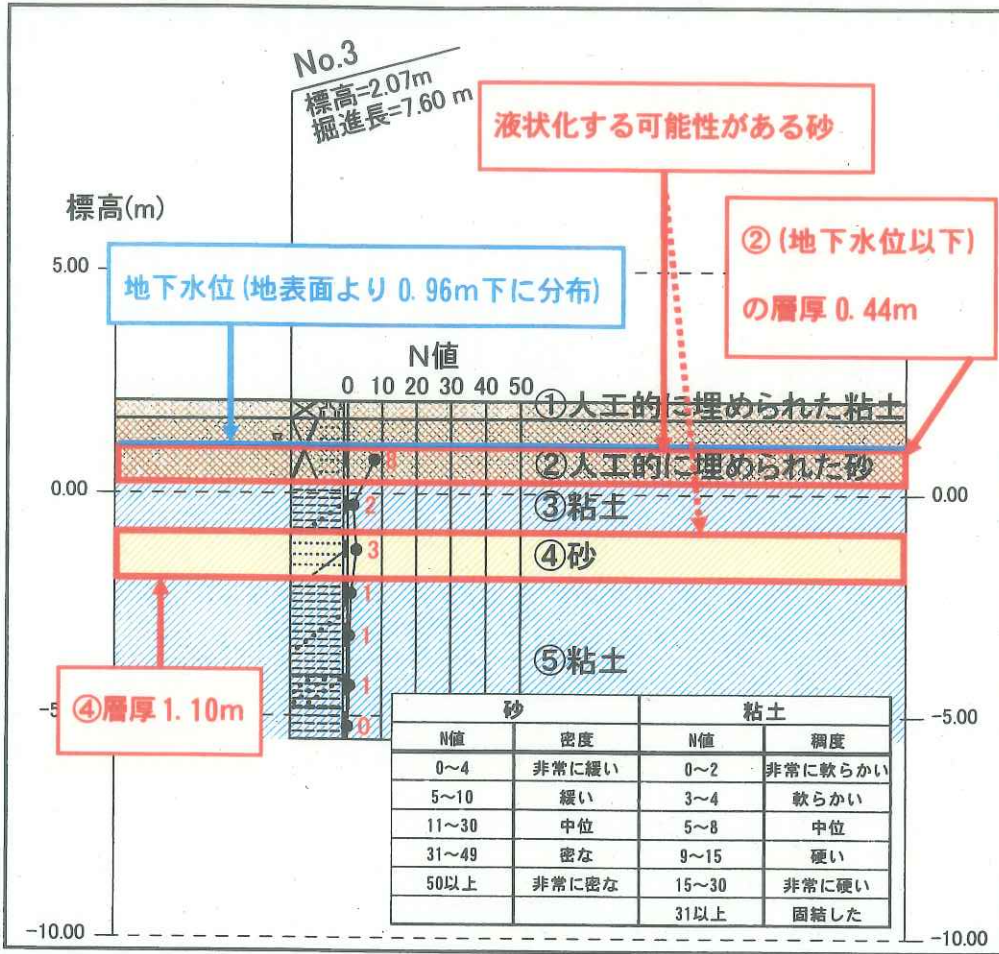
PL=14.244

※ただし、揺れの時間の長さも液状化の発生要因として大きく影響する。

■ 《液状化危険度》

$P_L$	液状化の危険度
0	かなり低い
5以下	低い
5を超え15以下	高い
15を超える	極めて高い

■ボーリング調査結果：No. 3 地点



■《土層の特徴》

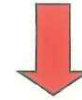
- ・ ②は 1.40mの層厚がある。
- ・ 地下水位は②の中に分布している。
- ・ ③、⑤の粘土の間に④の砂が混入している。
- ・ ②(地下水位以下)、④が液状化する可能性がある。

■《調査地の状況》

過去に沼地などの分布はなく、地震による被害規模が「小」である。

■《調査結果》

調査結果として、②人工的に埋められた砂および④の砂が液状化していることがわかった。



《今後》

再び大規模な地震が起こった場合、液状化する可能性は高いと判断される。

PL=6.875

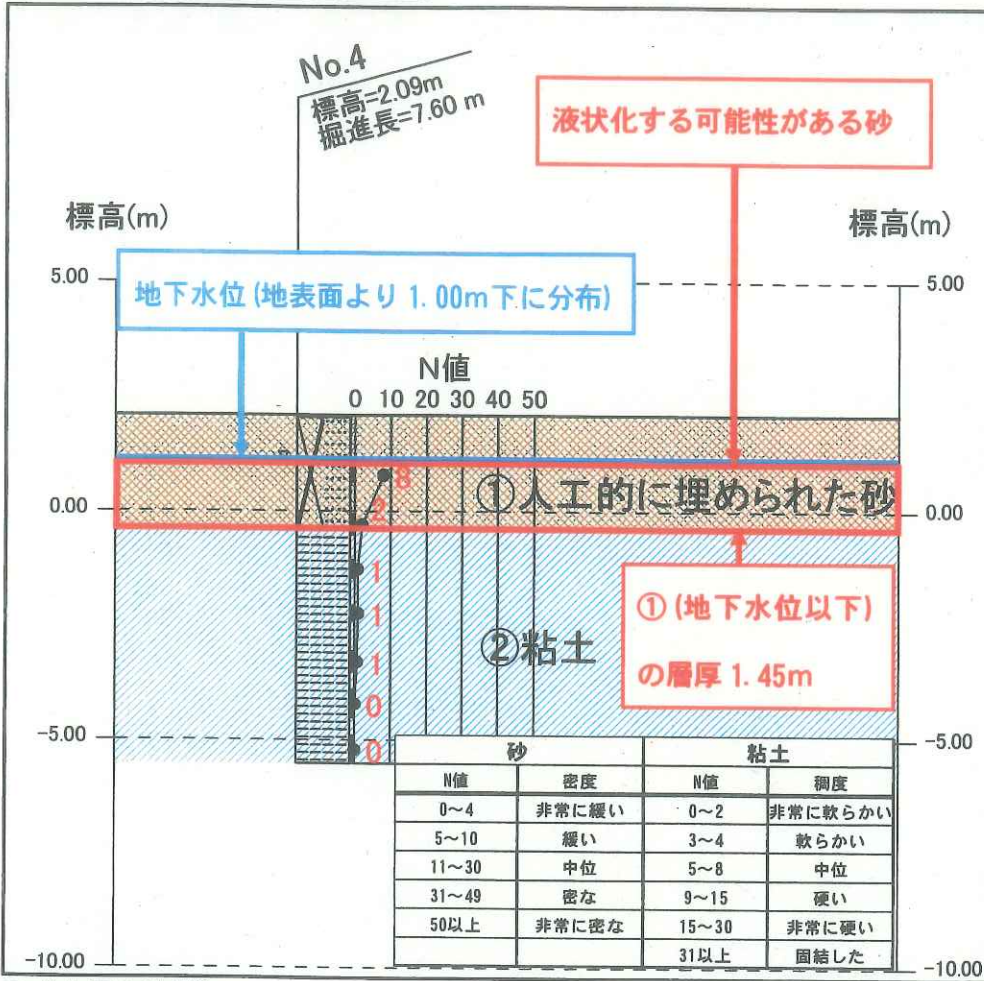
※ただし、揺れの時間の長さも液状化の発生要因として大きく影響する。

■《液状化危険度》

PL	液状化の危険度
0	かなり低い
5以下	低い
5を超え15以下	高い
15を超える	極めて高い



■ボーリング調査結果：No. 4 地点



■《土層の特徴》

- ・ ①は 2.45mの層厚がある。
- ・ 地下水位は①の中に分布している。
- ・ ① (地下水位以下) が液状化する可能性がある。

■《調査地の状況》

過去に沼地が分布しており、被害規模が「大」である。

■《調査結果》

調査結果として、①人工的に埋められた砂が液状化していることがわかった。

《今後》

再び大規模な地震が起こった場合、液状化する可能性は高いと判断される。

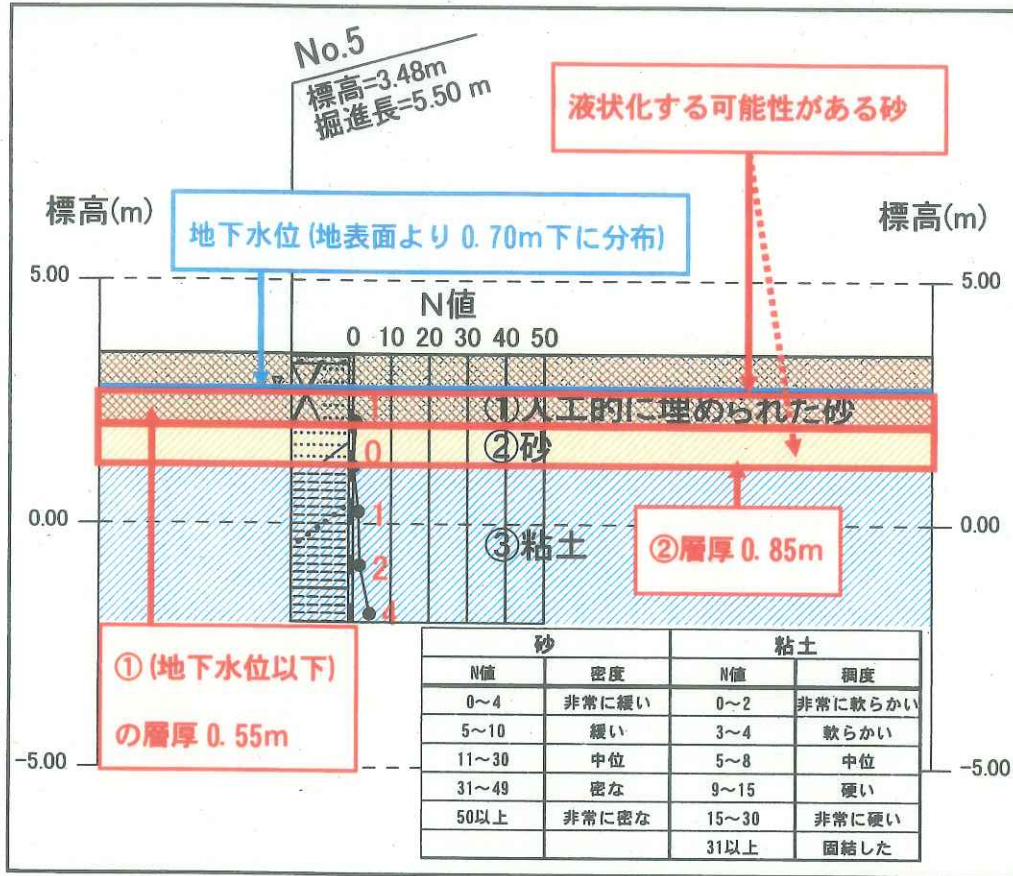
PL=8.673

※ただし、揺れの時間の長さも液状化の発生要因として大きく影響する。

■《液状化危険度》

$P_L$	液状化の危険度
0	かなり低い
5以下	低い
5を超え15以下	高い
15を超える	極めて高い

■ ボーリング調査結果 : No. 5 地点



■ 《土層の特徴》

- ・ ①は 1.25mの層厚がある。
- ・ 地下水位は①の中に分布している。
- ・ ①の下に②の砂がある。
- ・ ① (地下水位以下)、②が液状化する可能性がある。

■ 《調査地の状況》

過去に沼地が分布しており、被害規模が「大」である。

■ 《調査結果》

調査結果として、①人工的に埋められた砂が液状化していることがわかった。  
②の砂は粘土分が多く混入している為、液状化の可能性は低いことがわかった。



《今後》

再び大規模な地震が起こった場合、液状化の可能性は高いと判断される。

PL=6.221

※ただし、揺れの時間の長さも液状化の発生要因として大きく影響する。

■ 《液状化危険度》

$P_L$	液状化の危険度
0	かなり低い
5以下	低い
5を超え15以下	高い
15を超える	極めて高い